

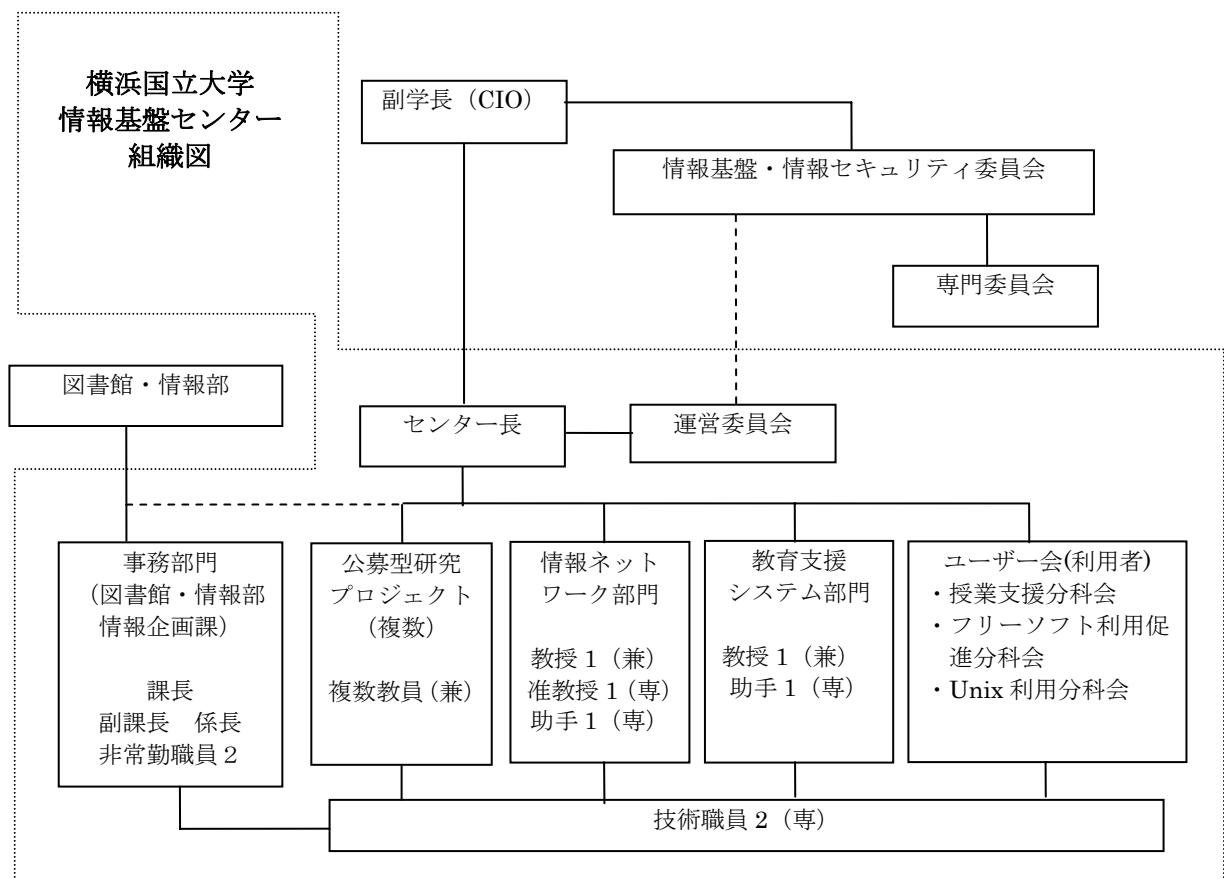
# 横浜国立大学情報基盤センター

長谷部 勇一、 徐 浩源、 志村 俊也

情報基盤センターは、これまでの総合情報処理センターにおける「学内共同利用施設」という性格を残しつつも、自立した組織として全学の情報基盤の充実・発展を図り、「情報基盤技術に関する研究を推進する」という研究機能を持たせる目的で2007年4月に改組しました。

改組後の大きな特徴として、情報基盤センターの業務は、『情報基盤・情報セキュリティ委員会』が決定した方針を受けて遂行するという点が挙げられます。『情報基盤・情報セキュリティ委員会』は、3名の副学長(総務・教育・研究担当理事)、各部局長、事務局長、情報基盤センター長』で構成され、情報基盤の全学的重要事項【情報セキュリティ対策、ソフトウェアのライセンス問題など】に関する基本方針を決定する委員会です。基本方針の策定については、当センターが同委員会に対して実質的提案を行います。

組織としては、「情報ネットワーク部門」と「教育支援システム部門」の2つの常設部門と複数の「公募プロジェクト部門」、そして「ユーザー会」で構成されています。



## ① 『情報ネットワーク部門』

キャンパス情報ネットワークの管理運用、学内情報セキュリティ等の情報基盤システムの管理運営に対する基本方針の策定および管理の実施を行う。また、これらの業務を遂行する上で必要となる研究・開発を行なうとともに、全学に対して、情報ネットワーク・情報セキュリティに関する教育も行う。

## ② 『教育支援システム部門』

研究教育用計算機システム(教育用 PC600 台、全学メールシステム、各種教育用サーバ類)の維持管理を行うとともに、それに必要な研究・開発を行う。また、全学に対して、情報処理関連教育を行う。

### ③ 『公募プロジェクト部門』

本学の情報基盤の高度化に裨益する期限付き教育・研究プロジェクトを公募し、選考、配置する。  
2007年8月現在のプロジェクトは、下記の3プロジェクトです。

- ハイビジョン遠隔講義スタジオとコンテンツ作成システムの構築
- ゲーミングシミュレーション教育の全学的展開
- 情報基盤センター管理 PC を活用した大規模数値シミュレーションの実施に関する調査

### ④ 『ユーザー会』

情報基盤センターの教育資源を利用する教員によって構成される会で、正規の委員会としてセンター内に位置づけられます。ユーザーの意見・要望を直接拾い上げ、センターが提供している各種サービスの改善に役立てることを目的に設置されました。ユーザー会は、利用資源などに応じて分科会が組織されており、2007年8月現在の分科会は、以下の3つです。

#### ○ YNU 授業支援システム分科会

YNU 授業支援システムは、2006年3月に導入した情報基盤センターの主要サービスの1つで、授業での資料配布やレポート提出を管理するシステムです。本分科会は、この授業支援システムの有効利用やどのように改善したらより利用しやすくなるかについて検討することを目的として設置されています。

#### ○ フリーソフト利用促進分科会

似たような機能をもつ複数の有料ソフトウェアは、なるべく1つのソフトウェアに統一し、また可能であれば、フリーソフトウェアへの代替が望ましいと思われれます。本分科会は、こういったことを検討することを目的として設置されています。

#### ○ Unix (Linux)利用分科会

情報基盤センターが提供している主要サービスの1つ「UNIX 教育専用サーバ(OS: Solaris10)」の有効利用について検討し、かつ、大学として今後の Unix (Linux)教育をどのように行っていくべきか、また、それに合わせてどのような Unix 教育環境を情報基盤センターは提供していくべきなのか等、UNIX 教育に関して幅広く検討するのが本分科会の目的です。